

社会福祉法人 豊中のぞみ会

令和3年度 事業計画書(案)

理念と支援方針

【豊中のぞみ会の理念】

社会福祉法人豊中のぞみ会は、多様な福祉サービスを、その利用者の意向を尊重して総合的に提供し、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう、支援していきます。

【基本方針】

(1) 介護・生活支援サービスの向上に関する取り組み

- ① 社会福祉法人として、理念に謳われているように、利用者を主体とした運営を基本に多種多様な福祉サービスを創意工夫しながら提供できるよう、組織全体で取り組みます。
- ② 利用者の安全や安心を確保し、福祉サービスの提供の基本である人権擁護・あらゆる事故防止対策を中心とした福祉サービスにおけるリスクマネジメント体制の確立を図っていきます。
- ③ 災害時や様々な感染症予防における危機管理体制の構築と非常時の食料及び生活必需品、感染症予防に対する医薬品や備品等々の備蓄を整えます。
- ④ 第三者委員や関係機関との定期的な懇談会をもち健全でより良いサービスの提供に努めます。

(2) 運営基盤の安定に向けた取り組み

- ① 生活介護事業所「のぞみ園」 定員20名(現員20名)で、現員の維持及び基準利用日数の限度まで利用率のアップに努めます。
- ② 生活介護事業所「のぞみ園」の営業日(開所日)の増加を検討します。
また、利用率の増加に努めます。
- ③ 共同生活援助「のぞみ荘」 定員7名で、現在5名。
利用者の定員までの確保に努めます。
- ④ のぞみ荘における土日の利用率の向上へ、土日の送迎及び日中の支援を引き続き行っていきます。
- ⑤ のぞみ荘における勤務体制の見直しを検討します。(宿直体制⇒夜勤体制)
- ⑥ 給与体系の抜本的な見直しを行い、職員の定着に努めます。
- ⑦ 法人全体のガバナンス強化に努め安定した法人運営の構築を目指します。
- ⑧ 業務の省力化、効率化、情報の共有化に努めます。

(3) 人材の育成と確保に向けた取り組み

- ① 全職員のレベルアップを図れるように、外部研修への積極的参加、伝達研修の実施、研修機会への計画的な参加に努めていきます。
(1) 人権研修 (2) 虐待防止・各種ハラスメントに関する研修 (3) 支援・援助スキルアップ研修
(4) 防災・危機管理に関する研修 (5) その他支援に必要な資格取得の研修への配慮
- ② 第三者委員や関係機関との情報交換や懇談会をもちスキルアップに努めます。

(4) 地域社会における役割と連携に向けた取り組み

- ① 入所者は、地域で暮らす地域住民の一員であり、地域の活動等に協力・参加できるよう努めていきます。
- ② 地域住民との交流促進のために、施設見学会や交流会等を実施できるよう努めていきます。
- ③ 地域社会の一員として、事業経営の安定性と透明性を確保するとともに、地域貢献活動に取り組み、地域との連携を図っていきます。

(5) 施設の管理に関する取り組み

- ① 建物の補修、設備・備品等、必要なことについては早期に取り組み、設備の点検を計画的に実施していきます。
- ② 利用者が安全、安心で快適な施設利用ができるよう環境を整えていきます。
- ③ 建物の内外の美観や衛生管理に努めていきます。

(6) ご家族との連携

相互協力を基本として、利用者の園での生活や日中活動等を積極的に発信し、相互の連携、協力体制の構築に努めます。

- (1) 家族、保護者への説明会の開催
- (2) 機関紙の発行による情報提供
- (3) 災害時における危機管理体制や安否確認等々の相互連携体制の構築

【事業の支援方針】

■ のぞみ園(生活介護事業)

- ① 利用者が安心して通所し、毎日安定して過ごすことができるよう支援していきます。
- ② 利用者一人一人の個性を大事にしながら、個別支援計画に基づき、ニーズに沿ったきめ細やかなサービスの提供を心掛けていきます。
- ③ さらに利用者の特性や健康・体力に合わせたグループ編成を行いきめ細かなサービスの提供を行っていきます。
- ④ 小規模な施設であることを活かし、地域へ出かける機会を多く持ち、地域の中で様々な経験や体験をすることにより、利用者の社会性を養うとともに、地域での生活の場を広げていけるよう支援していきます。
- ⑤ 毎日充実した生活を営むことができるよう、多種多様なサービスを提供することを心掛けていきます。
- ⑥ 利用者の意見や要望、希望が反映できるよう普段から傾聴に心掛けます。

■ のぞみ荘(共同生活援助事業)

- ① 地域の中で、人と人との関係性を大事にしながら、豊かに生活できるように支援できることを心掛けていきます。
- ② 健康で快適な生活が営めるよう、衛生面や食事面に配慮し支援していきます。
- ③ 家庭に代わる場として、家庭的な雰囲気のもと、安心して暮らしていけるよう心掛けていきます。
- ④ 利用者の意見や要望、希望が反映できるよう普段から傾聴に心掛けます。

本 部

◎所在地 〒560-0032 豊中市蛍池東町1丁目1-10
 電話 06-6843-6666 ・ 06-6845-5326
 FAX 06-6845-5327

- 本部関係
- 自立支援給付費等の申請・受納
 - 予算・決算等の作成
 - 収支の管理
 - 理事会の開催
 - 評議員会の開催
 - 評議員選任解任委員会の開催
 - 監事監査の実施
 - 監事研修会
 - 後援会
 - チャリティコンサートの開催
 - 寄付金の収受

のぞみ園 (生活介護事業所)

◎所在地 〒560-0032 豊中市蛍池東町1丁目1-10
 電話 06-6843-6666 ・ 06-6845-5326
 FAX 06-6845-5327

◎開所日数 261日
 休日 (土曜日 ・ 日曜日 ・ 年末年始)
 但し、月1回の土曜日は稼働。

◎定員 20名

◎利用者状況 【障害の程度】

障害支援区分		区分3	区分4	区分5	区分6	平均	前年度
男性	12人	1人	2人	4人	5人	5.1	5
女性	8人	0人	2人	5人	1人	4.9	4.9
合計	20人	1人	4人	9人	6人	5	4.9

【年齢】

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	平均
男性	12人	0人	6人	1人	1人	4人	0人	36.3
女性	8人	0人	1人	1人	2人	3人	1人	45.4
計	20人	0人	7人	2人	3人	7人	1人	40

(令和3年3月31日見込み)

◎職員体制

管理者	1名
サービス管理責任者	1名
事務員	1名
医師(嘱託)	2名
看護師(嘱託)	1名
生活支援員	12名

◎事業の概要

■生産活動

利用者一人一人の能力や、それぞれの障害の特性を踏まえ、ひとりひとりが、意欲を持って取り組めるよう支援していきます。

①個別の自立課題等

型はめ・色分け・玉通し・パズル・マッチング等

②民間企業からの受注作業

○関西ラインクローザー

地図の箱詰め・ゼリーやプリン等の箱詰め・ニップル箱詰め等

年間見込み収入 450,000円

③豊中市受託作業

○親水水路園路清掃作業

隔週1回 年間29回

年間見込み収入 300,000円

④自主製品

○なかまの店販売

月1回 年間12回

年間見込み収入 180,000円

○バザー他

年間見込み収入 20,000円

■青年教室

①音楽〔講師 三岡 妙子 氏〕

音楽を通し、利用者の個性を大切に豊かな感性を養い楽しく参加できるよう支援する。

②体育〔講師 松代 和子 氏〕

体育館を利用し、エアロビクス体操を中心に、体を動かし、日頃の運動不足を解消するとともに、リフレッシュ、健康作りを行う。

■健康作り

①プール活動

健康の維持・増進に努めながら、楽しく行えるよう実施する。

豊島温水プール(4月～11月)

②散歩・ウォーキング

■土曜日開所

月1回、土曜日を開所し、近郊で、ドライブを兼ねた社会見学等を実施し、文化教養・体験活動の機会とする。

■保健

①嘱託医 山田 哲(ドクター) 健康診断等実施。

②嘱託看護師 植田 幸子(看護師)

週1回、健康相談・バイタルチェック・身体測定等実施。

③頭髮カット 理容師(谷本 氏) 月1回実施。

④訪問歯科サポート〔スマイル 代表 岸田 泰雄〕

週1回、口腔ケア・歯科診療実施。

■趣味・文化教養

①カラオケ 月1回実施。

②四季折々の季節の変化・風物詩・伝統的文化等を楽しむ。

節分・七夕・花見等。

■余暇

①茶話会(誕生日会)

月1回、誕生日の方のお祝いを兼ねて、茶話会を実施。

■レクリエーション

①歩こうday(遠足)

年3回(5月・11月・3月)実施。

②日帰り(親子)旅行

年1回実施。

③ボウリング大会(9月)

④バーベQ大会(10月)

⑤クリスマス会(12月)

■地域との交流

①刀根山祭りへの参加・出店

②地域防災訓練に参加

③地域・施設交流会

■保護者関係

①家族個別支援計画面談の実施(年2回)

③なかまの店への出店 保護者の方々と協力しながら取り組む。

④親子日帰り旅行への参加

⑤クリスマス会への参加

■運営関係

【会議】

○朝会・振り返り(毎日実施)

○職員会議(毎月)

○危機管理会議(ヒヤリハット・事故防止・身体拘束廃止・虐待防止・感染症防止等)

○個別支援ケース会議(ケースカンファレンス)

【研修等の実施】

○外部関係機関等による各職種・課題に応じた研修会・交流会への積極的な派遣。

○障がい者施設間の研修・交流への参加。

○施設間留学への留学受入れ、発表会・交流会への参加

○内部研修及び伝達研修の実施

【市・府・その他関係会議への参加】

○府・市集団指導説明会・法人監査説明会

○豊中市社会福祉施設連絡会

○豊中市障害者啓発活動委員会

○豊中市障害児者日中活動事業者連絡会

○豊中市障害グループホーム事業者連絡会

○豊中市地域福祉ネットワーク会議

○大阪府知的障害者福祉協会(各部会)

○豊中障害福祉施設長会

○なかまの店運営委員会

○その他関係機関との連絡会議等

【その他の取り組み】

○安全点検(月の初日に実施)

○環境整備 施設・器具等の修繕整備・害虫駆除等

○防災訓練 消防計画を作成し、定期的に各訓練を実施する。

○職員健康診断

のぞみ荘 (共同生活援助事業所)

◎所在地 561-0842 豊中市今在家町23-15
電話 ・ FAX 06-6866-6616

◎開所日数 年間 360日

◎定員 7名

◎利用者状況【障害の程度】 2021.03.31.見込み

障害支援区分	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均	前年度
男性	3人	0人	0人	1人	2人	5.7	5.0
女性	2人	0人	1人	1人	0人	4.5	4
合計	5人	0人	1人	2人	2人	4.4	4.4

【年齢】

	10代	20代	30代	40代	50代	平均	前年度
男性	3人	3人	0人	0人	0人	22.3	34.3
女性	2人	0人	0人	0人	2人	52.5	50.7
計	5人	3人	0人	0人	2人	34.4	41.3

◎職員体制

管理者	1名	生活支援員	5名
サービス管理責任者	1名	世話人	2名
事務員	1名		

◎事業の概要

夜間共同生活の充実を図る。生活する場が、家庭的な雰囲気、安心して暮らせるよう余暇時間も十分に活用しながら、日常生活の向上とより良い介護の提供を進めていきます。

■余暇時間の充実

- 食後の散歩、テレビ鑑賞、音楽、読書やゲーム等、それぞれの趣味や興味に応じて、就寝までの時間を楽しんでいただけるよう支援します。
- 四季折々の季節の変化・風物詩・伝統的文化等を楽しめるよう情報・話題提供します。
花見・七夕・お月見・秋祭り・クリスマス・節分等。
- 誕生日会
- 外食会
- 保護者見学交流会

■運営関係

- 業務報告 毎日実施し、グループホームの職員との連携を密におこないます。
バックアップ施設のぞみ園の職員に引継ぎを行います。
- 職員会議 月1回、ケースカンファレンスを兼ねて実施します。
- グループホーム事業者連絡会への参加。
- 地域福祉ネットワーク会議への参加。
- 業務に関連した職種・職域各研修への参加。

■その他

- 防災訓練 消防計画を作成し、定期的に各訓練を実施する。
- 環境整備 施設・器具等の修繕整備・害虫駆除・植木剪定等
- 職員健康診断の実施。

